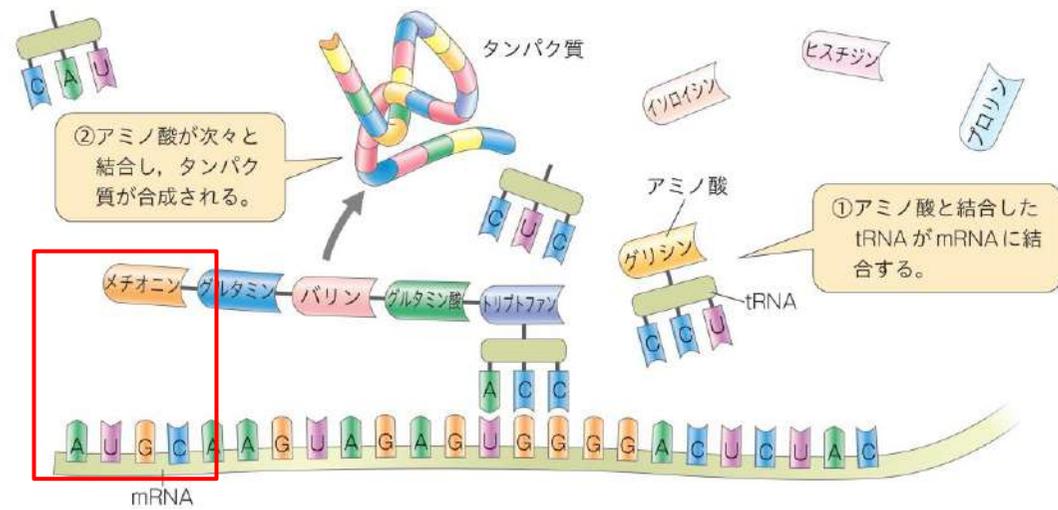
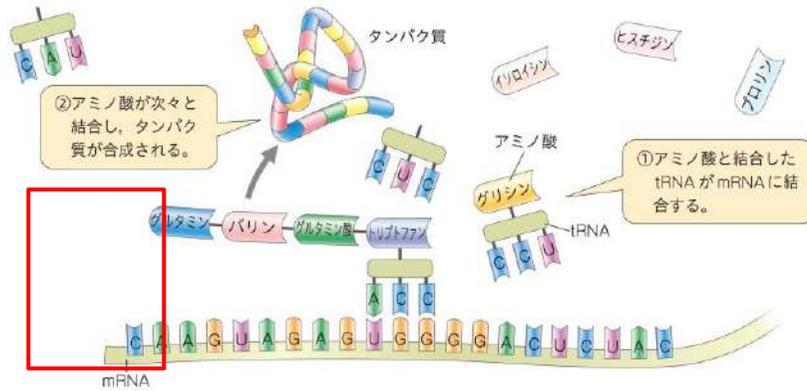


番号
1
訂正箇所
ページ 71
行 図 11

原文

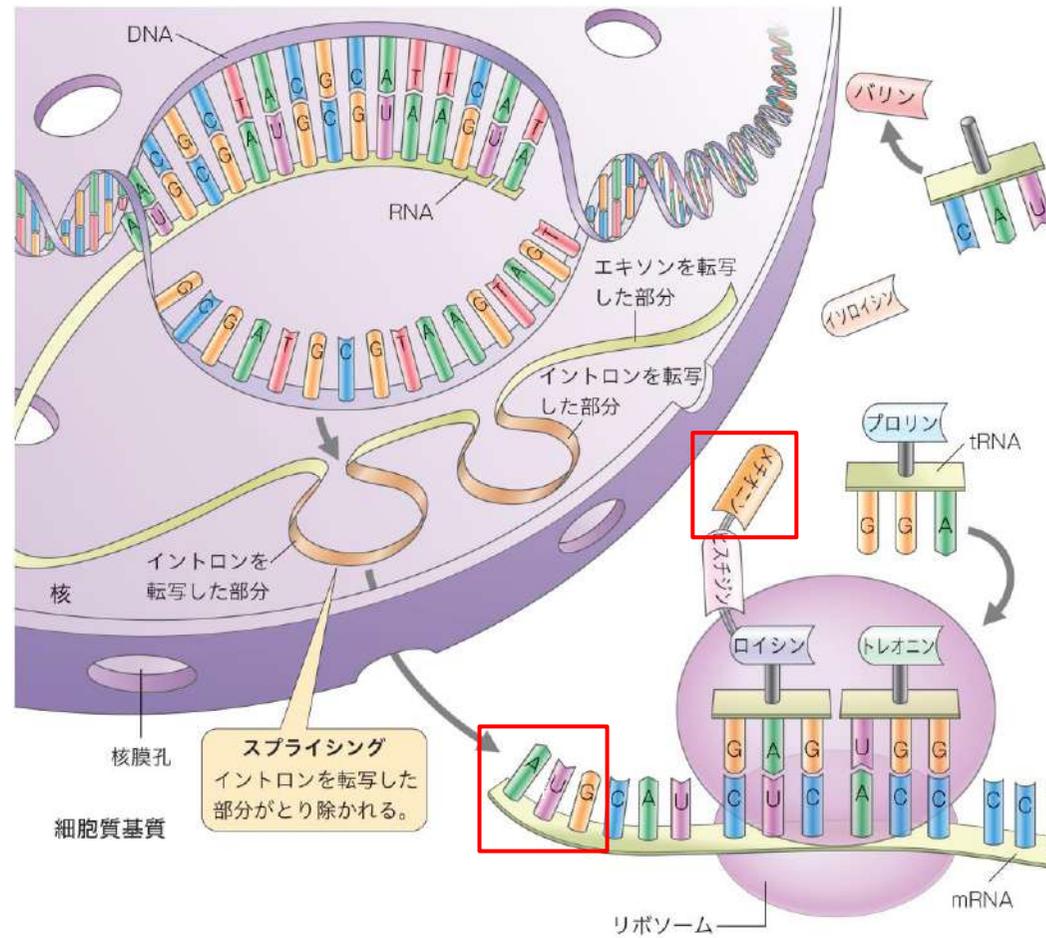
訂正文



番号	訂正箇所	
	ページ	行

2
(続き)

訂正文



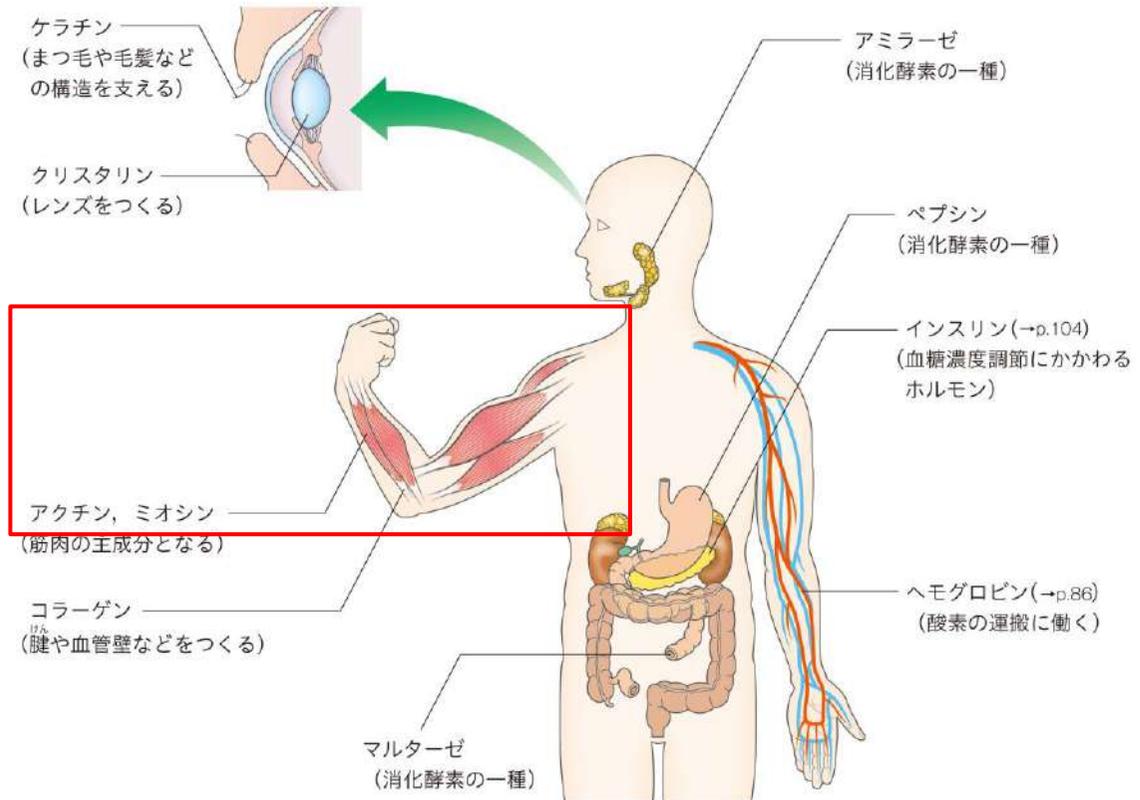
番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
3	157	図 8		
4	184	中中	<p>オオクチバス(▶ p.166)</p> <p>【サンフィッシュ科】 北アメリカ原産の淡水魚。釣り魚として1925年に芦ノ湖に放流された。「ブラックバス」ともよばれる。肉食で、在来種の小魚が捕食されている。</p>	

番号	訂正箇所		原文
	ページ	行	
5	66	図 2	<p>ケラチン (まつ毛や毛髪などの構造を支える)</p> <p>クリスタリン (レンズをつくる)</p> <p>アミラーゼ (消化酵素の一種)</p> <p>ペプシン (消化酵素の一種)</p> <p>インスリン (-p.104) (血糖濃度調節にかかわるホルモン)</p> <p>ヘモグロビン (-p.86) (酸素の運搬に働く)</p> <p>マルターゼ (消化酵素の一種)</p> <p>アドレナリン (-p.105) (血糖濃度調節にかかわるホルモン)</p> <p>アクチン, ミオシン (筋肉の主成分となる)</p> <p>コラーゲン (腱や血管壁などをつくる)</p>

番号	訂正箇所	
	ページ	行

5
(続き)

訂正文



番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
6	117	4～ 17行	<p>胞性免疫と同じであるが、抗原提示によって活性化して増殖したヘルパーT細胞は、<u>同じく抗原提示を受けたB細胞</u>の増殖・分化も促す^①(③)。B細胞は増殖をくり返して形質細胞(抗体産生細胞)へと分化し、1種類の抗体を多量に産生するようになる(④)。抗体は体液によって感染部位へ運ばれ、抗原との抗原抗体反応が起こる(⑤)。ヘルパーT細胞も同じく感染部位へ移動し、マクロファージを活性化する。活性化したマクロファージは、抗原抗体反応によって形成された抗原と抗体の複合体を食作用により排除する(⑥)。</p> <p>リンパ節内で増殖したヘルパーT細胞やB細胞の一部は、記憶ヘルパーT細胞や記憶B細胞などの記憶細胞となり、次の同じ抗原の侵入にそなえる。</p> <p>問 19 体液性免疫のしくみについて、次のキーワードを用いて説明しなさい。(ヘルパーT細胞, B細胞, 抗体)</p>	<p>胞性免疫と同じであるが、抗原提示によって活性化して増殖したヘルパーT細胞は、<u>同じ抗原を提示するB細胞から抗原提示を受けると、そのB細胞</u>の増殖・分化も促す^①(③)。B細胞は増殖をくり返して形質細胞(抗体産生細胞)へと分化し、1種類の抗体を多量に産生するようになる(④)。抗体は体液によって感染部位へ運ばれ、抗原との抗原抗体反応が起こる(⑤)。ヘルパーT細胞も同じく感染部位へ移動し、マクロファージを活性化する。活性化したマクロファージは、抗原抗体反応によって形成された抗原と抗体の複合体を食作用により排除する(⑥)。</p> <p>リンパ節内で増殖したヘルパーT細胞やB細胞の一部は、記憶ヘルパーT細胞や記憶B細胞などの記憶細胞となり、次の同じ抗原の侵入にそなえる。</p> <p>問 19 体液性免疫のしくみについて、次のキーワードを用いて説明しなさい。(ヘルパーT細胞, B細胞, 抗体)</p>

